

春日井市では、国の GIGA スクール構想により、市立小中学校における1人1台タブレット PC の配備と校内通信ネットワークの整備を行いました。これまでも、実物投影機やプロジェクターなどの ICT 機器を日常的に活用した、わかりやすい授業を推進してきました。今後は、1人1台タブレット PC が鉛筆やノートと並ぶ必要不可欠な道具となるよう教育活動のすべての場面で有効に活用し、子どもたちに「自ら考え、主体的に判断し、行動できる力」を育てていきます。また、個別最適な学びや創造性を育む学びの実現を目指します。

これまでの教育実践
の蓄積

× ICT =

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点から
の授業改善

1人1台タブレット PC と大容量高速ネットワーク環境の実現による学びの質の向上

効率よく学ぶ(一斉授業の改善)



発表が苦手な子どもの意見も瞬時に取り上げ、みんなで共有することができます。今まで以上に意見交換がしやすくなります。



教科書に掲載されている QR コード等からより詳しい内容や関連情報にアクセスすることができ、子どもたちの学びが深まります。

情報をうまく集めて活用する(探究的な学習の推進)



プログラミング体験などを通して、探究することの楽しさや面白さを実感することができます。



インターネットやデジタル教材を活用することで、疑問に思ったことについて詳しく調べることができます。

みんなと学ぶ(協働学習の充実)



複数人で同時にアクセスすることができるので、グループや学級で考えを共有したり、協力して作業を行うことができます。



遠く離れた外部の人ともつながることができるので、一緒に学んだり、より多くの考えに触れたりすることができます。

一人一人にあった学び(個別最適な学び)

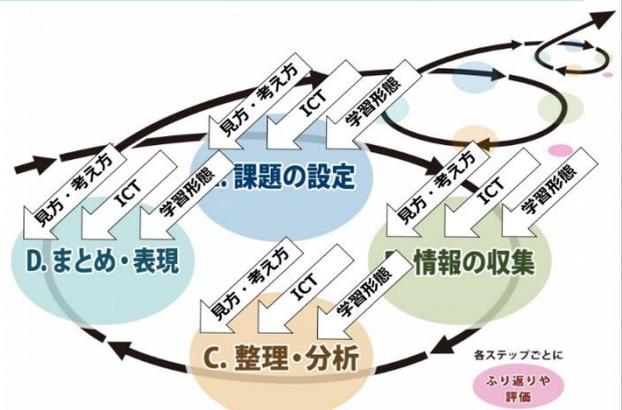


苦手分野や得意分野など、一人一人の学習状況や進度に応じた学習に取り組むことができます。



音声や動画などのデジタル教材の活用により一人一人の興味・関心に応じた学びを進めることができます。

各活動をつなげ「学習過程」として質の向上



©2020 高橋純 (東京学芸大学)

ICT を活用することで「課題の設定」「情報の収集」など、一つ一つの学習を効果的に行うことができます。こうした学習過程を繰り返すことで、子どもたちの深い学びが実現していきます。

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想とは

1人1台端末と、通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたち一人一人の資質・能力をより効果的に育成できる教育 ICT 環境を実現すること。

家庭と連携した学習の推進



週末などに家庭にタブレット PC を持ち帰ることで、オンライン上で出された課題に取り組んだり、取り組んだ課題を提出したりすることができます。



Chromebook(クロームブック)

春日井市では、クロームブックというタブレット PC を整備しました。クロームブックは、持ち運びやカバンの中に入れることを前提に考えられており、とても丈夫です。

これまでのように PC 内にデータなどを保存するのではなく、クラウド上の様々なサービスを利用したり、クラウド上でデータを管理したりします。

○クラウドサービスを利用する利点

- ・万が一 PC が故障してもデータが失われることがない。
- ・改めてアプリをインストールしたり設定したりする必要がない。
- ・ Google Workspace for Education のアカウントでログインすることで情報の共有・共同作業がしやすい。



授業に合わせた4つのスタイル

起動が速い

つくりが丈夫

安全性が高い

Google Workspace for Education (グーグル ワークスペース フォー エデュケーション)

グーグル ワークスペース フォー エデュケーションで提供される次のようなアプリを、学校生活の中で日常的に使用していきます。

○クラスルーム



国語・算数などの各教科の授業や委員会活動など、目的に応じたクラスを作成し、その中で教材や資料を共有したり、課題の受け取りや提出をしたりします。また、クラスルーム内のメンバーに連絡事項を伝えたり、チャットをしたりと、1か所でいろいろなことを行うことができ、学習支援の起点となるツールです。

○スライド



プレゼンテーションを作成するツールです。発表用のスライドを作成するときなどに使います。リアルタイムにて同時に複数人で編集することができるので、グループ内で作業を分担したり、共同編集したりするときに使います。

○ミーティング



離れた場所にいる人とつながることができるビデオ会議アプリです。同じクラスルーム内の教師やメンバーとのコミュニケーションを図るときに使います。遠く離れた学校と合同授業をしたり、学校と家庭とをつないで授業をしたりすることも可能です。

○ジャムボード



インターネット上のホワイトボードです。図や付箋の貼り付けが可能なので、思いついたことをどんどん付箋に記入して貼り付け、後で整理するときなどに使います。リアルタイムにて同時に複数人で編集することができるので、グループ内で意見を共有したり、いっしょに意見を整理したりするときに使います。

○スプレッドシート



データの整理やグラフの作成に有効なツールです。リアルタイムにて同時に複数人で編集することができるので、情報を共有する場面で有効に活用できます。クラス全員の意見を共有するときなどにも使います。

タブレット PC の活用方法や持ち帰りの時期・方法など、詳細については、学校の状況に合わせて取り組んでいきます。また、効果的に活用できるように児童生徒の活用状況に合わせて、今後も使い方のルールなど、対応を変更していくことがあります。

